

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 青少年課
 担当名: 企画・非行防止担当
 内線: 2905

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B13	若者支援協議会運営等事業費			一般会計	総務費	県民費	青少年育成指導費	青少年健全育成条例施行費	
事業期間	平成30年度～令和4年度	根拠法令	子ども・若者育成支援推進法第19条		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	8
					分野施策	0502	豊かな心と健やかな体の育成	SDGsターゲット	8-6
1 事業概要 社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者に対して支援を効果的かつ円滑に実施するため、若者支援協議会の運営等を通じた支援団体・機関のネットワーク形成や関係機関の情報共有、支援者のスキルアップを図る。 また、地域における若者支援ネットワーク構築を目指すため、機運醸成のための勉強会等を開催する。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 若者支援協議会運営事業 346千円 若者支援協議会を開催し、関係機関の情報を共有するとともに、若者支援研修会の企画立案検討を行う。 イ 若者支援スキルアップ等事業 542千円 効果的かつ円滑な連携による支援を行うため、若者支援団体・機関の職員を対象とした研修会を開催する。 ウ 若者支援機運醸成事業 790千円 県内ブロック単位の支援ネットワーク構築を目指すため、つながりづくりのための勉強会等の開催や、若者支援コーディネーターによる地域支援を通じた若者支援の機運醸成を行う。					
(1) 若者支援協議会運営事業 事務費節減等による減 △312千円				(2) 事業計画 ア 若者支援協議会の運営 代表者会議の開催(年1回)、実務者会議の開催(年3回)、意見交換会(年2回)					
(2) 若者支援スキルアップ等事業 事務費節減等による減 △50千円				イ 支援者のスキルアップ研修会の開催(年3回)					
(3) 若者支援機運醸成事業 事務費節減等による減 △275千円				ウ ブロック単位の勉強会等の開催 コーディネーター主催(5回)、地域主催(3回×5ブロック)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(3) 事業効果 若者支援団体・機関のネットワークが形成されるとともに、困難を有する若者に対する効果的で円滑な支援が行われる。					
3 地方財政措置の状況 なし				(4) 補正予算の概要 事務費等節減等による減(△637千円)					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△637						△637	1,041	
現計額	1,678						1,678		

事業内訳書

事業名	若者支援協議会運営等事業費		
単位事業名	若者支援協議会運営事業	予算額	△ 312千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△130	—	事務費節減等による報償費の減
旅費	△116	—	事務費節減等による旅費の減
需用費	△33	—	事務費節減等による需用費の減
使用料及び賃借料	△33	—	事務費節減等による使用賃借料の減
合計	△312	—	

単位事業名	若者支援スキルアップ等事業	予算額	△ 50千円
-------	---------------	-----	--------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△50	—	事務費節減等による報償費の減
合計	△50	—	

単位事業名	若者支援機運醸成事業	予算額	△ 275千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△90	—	事務費節減による報償費の減
旅費	△114	—	事務費節減による旅費の減
需用費	△5	—	事務費節減による需用費の減
役務費	△42	—	事務費節減による役務費の減
使用料及び賃借料	△24	—	事務費節減による使用賃借料の減
合計	△275	—	